

東京都立八王子桑志高等学校 令和7年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	デザイン	科目：	デザイン実習応用	単位数：	3	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	無し	副教材	自作プリント				

年間指導目標：

デザイン実習のまとめとして、ヴィジュアルデザイン・テキスタイルデザイン・プロダクトデザイン・エディトリアルデザインの4項目に分類し4～5週のローテーションにより制作学習を行う。1・2学年の基礎学習の発展として、4つの領域に関する表現方法を、制作実習を通して学び、各領域における知識・技能を修得する。

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	デザイン実習①、デザイン実習②で学んだ知識、技術と課題制作を通して応用課題に生かすことができる。	各自のテーマに沿って得た技術、知識をリサーチや試作制作を行い、作品に反映することができる。	積極的、主体的に取り組み、提出期日を守って完成させることができる。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配 当 時 数
1 学 期	中 間 考 査	ヴィジュアルデザイン 卒業制作ポスター（アイ デアスケッチ）	(知)	・ヴィジュアルデザインの様々な技法と基礎理論 を理解している。 ・原毛の性質、縮絨の原理を理解している。 ・鋳造の型作り技法を理解している。		○		○	○	12
		テキスタイルデザイン 帽子制作（縮絨）	(思)	・伝えるべき内容とキービジュアルが合致して完 成度に反映している。 ・羊毛の性質を活かして帽子の造形が出来てい る。		○		○	○	
		プロダクトデザイン ペーパーウェイトのモデ ル制作（アルミ鋳造）	(態)	・根気のある取り組みで、最後まで仕上げてい る。 ・造形時の安全に対して、よく理解して取り組ん でいる。		○		○	○	
1 学 期	期 末 考 査	エディトリアルデザイン ポートフォリオの制作と 製本（In Design）	(知)	・ヴィジュアルデザインの様々な技法と基礎理論 を理解している。 ・原毛の性質、縮絨の原理を理解している。 ・鋳造の型作り技法を理解している。		○		○	○	12
		ヴィジュアルデザイン 卒業制作ポスター（アイ デアスケッチ）	(思)	・伝えるべき内容とキービジュアルが合致して完 成度に反映している。 ・羊毛の性質を活かして帽子の造形が出来てい る。		○		○	○	
		テキスタイルデザイン 帽子制作（縮絨）	(態)	・根気のある取り組みで、最後まで仕上げてい る。 ・造形時の安全に対して、よく理解して取り組ん でいる。		○		○	○	

2 学 期	中 間 考 査	ヴィジュアルデザイン 卒業制作ポスター（アイ デアスケッチ）	（知）	・ヴィジュアルデザインの様々な技法と基礎理論 を理解している。 ・原毛の性質、縮絨の原理を理解している。 ・鑄造の型作り技法を理解している。		○		○	○	16
		テキスタイルデザイン 帽子制作（縮絨）	（思）	・伝えるべき内容とキービジュアルが合致して完 成度に反映している。 ・羊毛の性質を活かして帽子の造形が出来てい る。		○		○	○	
		プロダクトデザイン ペーパーウェイトのモデ ル制作（アルミ鑄造）								
		エディトリアルデザイン ポートフォリオの制作と 製本（In Design）	（態）	・根気のある取り組みで、最後まで仕上げてい る。 ・造形時の安全に対して、よく理解して取り組ん でいる。		○		○	○	
2 学 期	期 末 考 査	ヴィジュアルデザイン 卒業制作ポスター（アイ デアスケッチ）	（知）	・ヴィジュアルデザインの様々な技法と基礎理論 を理解している。 ・原毛の性質、縮絨の原理を理解している。 ・鑄造の型作り技法を理解している。		○		○	○	16
		テキスタイルデザイン 帽子制作（縮絨）	（思）	・伝えるべき内容とキービジュアルが合致して完 成度に反映している。 ・羊毛の性質を活かして帽子の造形が出来てい る。		○		○	○	
		プロダクトデザイン ペーパーウェイトのモデ ル制作（アルミ鑄造）								
		エディトリアルデザイン ポートフォリオの制作と 製本（In Design）	（態）	・根気のある取り組みで、最後まで仕上げてい る。 ・造形時の安全に対して、よく理解して取り組ん でいる。		○		○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	ヴィジュアルデザイン 卒業制作ポスター（アイ デアスケッチ）	（知）	・ヴィジュアルデザインの様々な技法と基礎理論 を理解している。 ・原毛の性質、縮絨の原理を理解している。 ・鑄造の型作り技法を理解している。		○		○	○	4
		テキスタイルデザイン 帽子制作（縮絨）	（思）	・伝えるべき内容とキービジュアルが合致して完 成度に反映している。 ・羊毛の性質を活かして帽子の造形が出来てい る。		○		○	○	
		プロダクトデザイン ペーパーウェイトのモデ ル制作（アルミ鑄造）								
		エディトリアルデザイン ポートフォリオの制作と 製本（In Design）	（態）	・根気のある取り組みで、最後まで仕上げてい る。 ・造形時の安全に対して、よく理解して取り組ん でいる。		○		○	○	
合計										60

東京都立八王子桑志高等学校 令和7年度 年間指導計画（シラバス）

教科・分野：	デザイン	科目：	課題研究	単位数：	4	指導学年：	3
担当教諭：							
使用教科書	無し	副教材	自作プリントなど				

年間指導目標：
デザイン分野として学習した内容を活かし、必要な資質、能力を養うために作品の制作を行う。
選択した講座で生徒各自が調査研究しながら制作し、将来に活かせる知識・技能を修得する。
講座（テキスタイル、ビジュアル、プロダクト、木工・インテリア、CG、映像、ジュエリー、セラミック、以上8講座）

評価規準	知識・技能（知）	思考力・判断力・表現力（思）	主体的に学習に取り組む態度・学びに向かう力（態）
	・選択した講座内容に基づき、研究や調査を行っている。 ・調査内容から主体的に問題を把握することが出来る。 ・制作に関わる知識が身に付いており、研究調査が活かされている	・問題解決のための造形がなされており、制作表現技術を効果的に使用している。 ・制作の意図がなされており、目的が明確である。	・基礎知識と研究内容を駆使して、応用した造形を考え出すことが出来る。 ・計画的に制作に取り組み、完成に向けて最後まで取り組むことが出来る。 ・作品発表で、制作意図やポイントを効果的に伝えることが出来る。

評価方法				
a:定期考査	b:パフォーマンス (実技・実習・課題)	c:小テスト等	d:自己評価	e:授業態度

学期	考査	単元及び指導内容	観点	評価規準	a	b	c	d	e	配当 時数
1 学期	中間 考査	・オリエンテーション、問題調査。 ・中間発表（調査内容プレゼンテーション）。	(知)	・研究内容を自ら設定し、必要に応じて調査課題を考えることが出来る。		○		○	○	30
			(思)	・必要な知識、技術を駆使して問題発見が出来る。 ・中間発表内容において、問題発見が出来る。		○		○	○	
			(態)	・根気よく取り組み、発表することが出来る。		○		○	○	
1 学期	期末 考査	・問題解決の造形、アイデアスケッチ。 ・試作品（モックアップなど）制作。 ・経過発表（プレゼンテーション）。	(知)	・中間発表内容を基に、必要な技術や方法を設定できる。		○		○	○	34
			(思)	・研究内容とリサーチを基に、素材を考えて試作品を作ることが出来る。		○		○	○	
			(態)	・根気よく取り組み、作品製作が出来る。		○		○	○	

2 学 期	中 間 考 査	・調査結果と中間報告を踏まえた作品制作。 ・材料確認と素材研究。	(知)	・試作品の様々なポイントを理解し、試行錯誤の中から改善点と方法を考えることが出来る。		○		○	○	34
			(思)	・制作物に対して、適した素材や技術を生かすことが出来る。		○		○	○	
			(態)	・根気よく取り組み、作品製作が出来る。		○		○	○	
2 学 期	期 末 考 査	・仕上げに向けた作品制作。 ・発表用資料作成（プレゼンテーションボード、パワーポイント等）。	(知)	・作品仕上げに向けて、的確な技法を選ぶことが出来る。		○		○	○	34
			(思)	・リサーチを活かした造形を行い、完成に向けて仕上げている。 ・発表につながる制作データを蓄積させている。		○		○	○	
			(態)	・根気よく取り組み、作品製作が出来る。 ・発表のための準備が出来ている。		○		○	○	
3 学 期	学 年 末 考 査	・作品仕上げと最終確認。 ・プレゼンテーション練習。	(知)	・発表のためのポイントや、制作意図を挙げて、成果物に反映させている。		○		○	○	4
			(思)	・作品制作の総仕上げと最終チェックが出来ている。		○		○	○	
			(態)	・根気よく取り組み、作品製作が出来る。 ・発表のための準備が出来ている。		○		○	○	
合計										136